

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社ケアシステムズ

② 施設・事業所情報

名称：太陽の子港南台保育園	種別：認可保育園	
代表者氏名：遠藤 美由樹	定員（利用人数）： 60名	
所在地：〒234-0054 横浜市港南区港南台3-12-2		
TEL：045-830-5070	ホームページ： https://www.hitowa.com/kids-life/	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日 2015年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：HITOWAキッズライフ株式会社		
職員数	常勤職員： 17名 非常勤職員 2名	
専門職員	（専門職の名称） 名	
	栄養士 3名	
施設・設備 の概要	（居室数）	（設備等）
	2階建て 園庭あり 保育室数 6室	多目的トイレ 厨房 調乳室 沐 浴台2箇所

③ 理念・基本方針

保育理念「つながり保育」

「心が動く体験」と「豊かな対話」で、つながりを創造する

1. 子どもとつながる：「主人公」になる
2. 保護者とつながる：「共鳴」する
3. 地域とつながる：「市民」になる
4. スタッフ同士つながる：「チーム」になる

太陽の子保育園

保育方針

のびのび すくすく にこにこ

- ・安心できる人間関係の中で、多様性を尊重します
- ・心の動く体験と深い対話で学びのプロセスを大切にします
- ・子どもの「やりたい」から始まる保育環境をデザインします
- ・学び続け、専門性を発揮するチーム保育を行います

保育目標

- ・自信をもって個性を発揮することも
- ・たくさんの“好き”を見つけチャレンジすることも
- ・“違う”を楽しみ友達とつながることも

④ 施設・事業所の特徴的な取組

- ・0歳児～5歳児を対象とした月2回の英語活動「いあんぱりんタイム」。各クラスリーダー主導の英語に触れる活動。
- ・おそうじチャレンジとしてプロから掃除の仕方を教えてもらったり、掃除について考える時間を作る。5歳児はお掃除 を楽しみながら経験する。

- ・絵本巡回としゃかんでテーマ、年齢に沿った絵本を巡回。より多くの絵本との出会いの場を作る。
- ・日々絵本の貸出しを行い家庭で絵本に触れられる機会を作る。
- ・絵本給食で絵本に登場する食べ物や、絵本にちなんだ内容の給食を提供。
- ・行事食、郷土料理献立、世界の料理献立などの特別献立を取り入れ、様々な文化に触れる。
- ・クッキングで自分で作ること、調理に携わる事で食べ物や作ってくれる人達への感謝を知る。
- ・乳児クラスから実際に食材に触れたり、香りを嗅いだりして五感で感じる食育。
- ・園庭でプランターを使用しての栽培・収穫活動や、畑を活用し収穫体験を行う。
- ・地域ケアプラザ、子育て連絡会と連携し、行事を通しての地域交流、近隣店舗との交流を深める。
- ・地域・家庭向けの絵本貸出、随時育児相談の実施。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2023年 6月 6日（契約日） ～ 2024年 2月 8日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（令和元年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

特長

子どもが主体となり、やりたいことを実現できるような環境を重視している

子どもたちの意見を大切に、話し合いを通じて保育が展開されるよう配慮しており、子ども中心のアプローチが浸透していることがうかがえる。保育士は主導的な役割を避け、子どもたちが自ら考え、行動できるようサポートすることに心を配っている。このような配慮によって、自主性や創造性を促進する環境が確立され、子ども一人ひとりの可能性が最大限に引き出されるよう努めている。

園長代行の円滑な進行と組織的なサポート体制ができている

現在園長が休職中であるため、主任が園長の代行を務めている。この取り組みでは、園長の業務を職員に明確に伝え、保育現場から離れる時間が生じることを職員に説明し、理解を促している。また、法人からも園長代行のサポート体制が整えられている。このような状況下での職員間の良好なコミュニケーションと組織的な対応は、園の協力体制と柔軟性を示しており、特長的な取り組みと言える。保育園が不測の事態にも適切に対応できる体制が整っていることがうかがえる。

地域との積極的な交流を通じて子どもたちの多様な経験を促進している

園では、駅のショッピングモールでの七夕イベントや中央公園でのキャンドルナイトなど、地域社会との交流活動が盛んに行われている。これらのイベントは、地域との関わりを深めるだけでなく、園見学につながる場合もある。また、園長会や子育て連絡会を通じて地域との幅広い交流が行われており、5歳児の就学情報の共有なども行われている。子どもたちはこれらの交流を通じて多様な経験を積むことができ、地域社会の一員としての成長をしている。地域社会との連携を強化するこの取り組みは、園の大きな特色となっている。

今後期待される点

健康に関する正しい知識と意識を育成するため、専門職の指導を取り入れることを検討している

看護師が不在の状況下では、健康教育の提供に課題が生じているため、区の保健師や系列園の看護師といった外部の専門職からの健康教育や指導を取り入れることで、子どもたちの健康意識を高める取り組みを進めることを検討している。現時点では、保健衛生担当職員が主導し、担任と連携をとりながら、子どもたちに必要な健康情報の提供と研修を行っており、看護師不在の状況を補う努力をしている。

中長期計画の策定と単年度計画の明確化、全職員への情報共有を強化することが望まれる

法人の中長期計画は存在するが、園の中長期計画が未策定であり、単年度の事業計画が形骸化している現状が見られる。園長への情報共有は進んでいるものの、保育リーダーを含む全職員への情報共有には課題がみられる。また、単年度の事業計画において、専門職以外の担当が明確でなく、進捗状況の確認も期末にのみ行われている。こうした状況を改善し、園の中長期計画を策定すること、それに基づいた単年度の事業計画を明確にし、職員全員や保護者にも情報を共有する体制を整えることが望まれる。これにより、園の理念実現に向けた計画が具体的に実践されることが期待される。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

保育内容について、全ての職員が研修・研鑽を積み重ね、子ども主体の保育を実現するために励んで参りましたので今回の評価にて具体的な内容でお褒めを戴きました事は大変、励みになりました。子育て支援や利用者満足度につきましても今後も引き続き変わらぬ活動をして参ります。また、ご指摘いただきました内容（プロセスが良くても、それを書面に残し、共有すること。）を改善して更に安心な運営が出来ますよう努めたいと思います。そして運営に際しまして法人のサポートが大きな力になっていることも改めて感じる機会を戴けました。ありがとうございました。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり